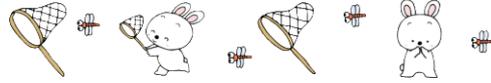


二河川となかよし



9月5日(水)に、1年生が生活科の学習で二河川へたんけんに行きました。

バケツや網を持って、やる気満々、いざ二河川へ。前の日の雨がうそのように、澄み切った流れの二河川が子供達を待っていてくれました。「つめたーい。」と言っていた子供達もどろん川の中へ入っていき、魚やかにを見つけて大喜び。講師として来ていただいた清田先生に魚の名前を教えてもらっていました。探検が終わると清田先生が観察しやすい容器に生き物たちを入れてくださいました。いろいろな生き物に目が釘付けの子供達…。清田先生が「カワムツやぬまえび、モクズガニやヤゴ、上から見ると何もいないように見えるけど、たくさんの生き物が住んでいますよ。みなさんには、生き物のたくさん住む二河川を大切にしてほしいです。そのためには二河川を好きになってください。」とお話されました。

この体験を忘れないで、二河川をこれからもっと大好きになってほしいなと思いました。

わくわく応援隊の保護者の皆様には、子供達の見守りや活動のお手伝いをいただきました。おかげで、楽しい学習を安全にすることができました。ありがとうございました。

生き物が住めるようなきれいな水になるよう、皆さんが考えることを考えてください。



わくわく応援隊の皆さん

水産教室がありました



9月6日(木)には、呉市農林水産課の方を講師にお招きして、5年生対象の水産教室が実施されました。

かき・たちうお・ちりめんじゃこが広島県の中で呉市が第1位の漁獲量を誇ることで、新たな呉市のブランドとして、おにおこぜを売り出そうとしていることなどを教えていただきました。また、全国的な動きである「とる漁業から育てる漁業へ」という動きが呉市でも進められていることも分かりました。かきを育てるためのほたての貝殻やたこつぼを持たせてもらったり、かさごの稚魚を見せてもらったり、教科書に書いてあることが自分たちの住んでいる呉市でも行われていることがよく分かりました。

